

資料 医療機関における具体的対応方針策定の取りまとめについて

【経緯】

地域医療構想に係る具体的対応方針については、保健医療福祉課長通知（平成30年7月18日）において、「2025年に向けた計画」として様式例を示し、これまで各医療圏ではそれぞれ協議を進めていただいていたところである。

その後、令和4年3月の厚生労働省医政局長通知において、改めて地域医療構想の進め方等が示され、その中で、具体的対応方針について令和4、5年度で全ての医療機関で策定するとの方針が示された。

【現状と対応について】

令和4年度から、都道府県に対して毎年9月末及び3月末時点の具体的対応方針の策定状況等について調査することとなり、初回となる令和4年9月末時点の調査の結果によると、医療機関ベースの具体的対応方針の策定状況について「合意・検証済み」が全国集計では36%であるのに対して、本県は16.3%であった。

については、医療機関における具体的対応方針の策定を進めるために、下記のとおり、各地域振興局・支庁に御協力をお願いしたい。

記

1 地域医療構想調整会議での協議内容

以下の通知に基づき、地域医療構想調整会議において協議を行い、具体的な対応方針の策定状況を取りまとめる。（様式は従前から使用しているものを必要に応じて時点修正したものを使用（別添1参照））

《関係通知》

- ・厚生労働省医政局地域医療計画課長通知（平成30年2月7日）（参考1参照）
- ・保健医療福祉課長通知（平成30年7月18日）（参考2参照）
- ・厚生労働省医政局長通知（令和4年3月24日）（参考3参照）

2 医療機関における具体的方針の策定期限（策定状況の取りまとめ期限）

令和5年度中

3 作業スケジュール（別添2参照）

- (1) R5.3 県から依頼通知文発出（保健医療福祉課→地域振興局・支庁）
- (2) R5.4 医療機関へ依頼文発出（地域振興局・支庁→医療機関）
- (3) R5.6 医療機関から具体的対応方針提出（医療機関→地域振興局・支庁）
- (4) R5.6～ (3)を基に協議（地域医療構想調整会議）
- (5) R6.3 策定状況の取りまとめを報告（地域振興局・支庁→保健医療福祉課）

(別添1) 【2025年に向けた計画】

作成例

病床機能報告の医療機関IDを入力すると、病床数の項目には、病床機能報告で報告済みの情報が自動で仮挿入されます(介護保険施設等を除く)。仮挿入された内容を御確認いただき、誤りがある場合には、朱書き修正をお願いします。
※黄色のセルは手入力が必要です。

医療機関ID (R3 病床機能報告)	14609999
(医療機関名)	●●病院

医療機関記入欄

1 担う医療機能について (単位：床)

当初 (H29.7)		現在		2025年(R7)	
高度急性期	0	高度急性期	0	高度急性期	10
急性期	100	急性期	100	急性期	90
回復期	50	回復期	50	回復期	60
慢性期	40	慢性期	40	慢性期	10
休棟	0	休棟	0	休棟	0
介護保険施設等		介護保険施設等	0	介護保険施設等	20

R3病床機能報告時点の医療機関名が表示されます。変更がある場合は朱書き修正してください。

担う役割の方針	
がん	<input type="radio"/>
脳卒中	<input type="radio"/>
心血管疾患	<input type="radio"/>
糖尿病	<input type="radio"/>
精神疾患	<input type="radio"/>
救急医療	<input type="radio"/>
災害医療	<input type="radio"/>
離島・へき地医療	<input type="radio"/>
周産期医療	<input type="radio"/>
小児・小児救急医療	<input type="radio"/>
在宅医療	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>

2 2018 (H30) 年以降の実績及び今後のスケジュール

年度	取組内容	参考 (関連施策等)
2018年度		
2019年度		
2020年度		
2021年度		
2022年度	病床機能転換を検討。地域医療構想調整会議で協議。	
2023年度	介護医療院の開院に向けて市と協議開始。	
2024年度	急性期10床を高度急性期に転換。慢性期10床を回復期に転換。	地域医療介護総合確保基金事業 (病床の機能分化・連携支援事業)
2025年度	介護医療院開院に向けた施設改修、開院。	

病床機能報告では報告項目となっていないため、入力をお願いいたします。0床の場合も「0」を入力してください。

該当する項目は、プルダウンリストから「○」を選んでください。

病床機能報告では報告項目となっていないため、入力をお願いいたします。0床の場合も「0」を入力してください。

病床機能報告では報告項目となっていないため、入力をお願いいたします。0床の場合も「0」を入力してください。

【作業手順】

- 「医療機関ID (R3 病床機能報告)」の項目にR3年度病床機能報告における自院のIDを入力。
→「医療機関記入欄」の「1 担う医療機能について」の「当初 (H29.7)」, 「現在」, 「2025年(R7)」の病床数の項目に、病床機能報告で報告済みの情報が自動で仮挿入されます。
※以下の黄色セルの箇所を除く
 - 「現在」の「介護保険施設等」
 - 「2025年(R7)」の「休棟」及び「介護保険施設等」
- 上記1の作業で仮挿入された内容を確認し、「医療機関名」, 「病床数」の修正が必要な場合には朱書き上書き修正。
- 上記1※に記載した黄色セルの3箇所を手入力。0床の場合も「0」を入力。
- 「担う役割の方針」の項目を入力。該当するセルをクリックして、プルダウンリストから「○」を選択。
- 「2 2018 (H30) 年以降の実績及び今後のスケジュール」の「取組内容」を手入力。
※地域医療構想の推進に関連する取組の実績と予定を該当する年度のセルに入力。
- 「2 2018 (H30) 年以降の実績及び今後のスケジュール」の「参考 (関連施策等)」を手入力。
※病床の機能分化・連携や病床転換, 病床削減等の補助事業の活用について実績と予定を該当する年度のセルに入力。